



# 令和4年産も「需要に応じた米生産」と「水田フル活用」に取り組みましょう!

## ◎「需要に応じた米生産」



### 富山県の令和4年産米の主食用米の生産目標

- ① 全国の生産量の目安 (▲3.0%) を踏まえつつ、② 富山県産米の需要量シェアを考慮し、県段階の生産目標を

**172,125トン、面積換算で31,550ha (前年実績比▲650ha、▲2.0%)**

として設定しました。

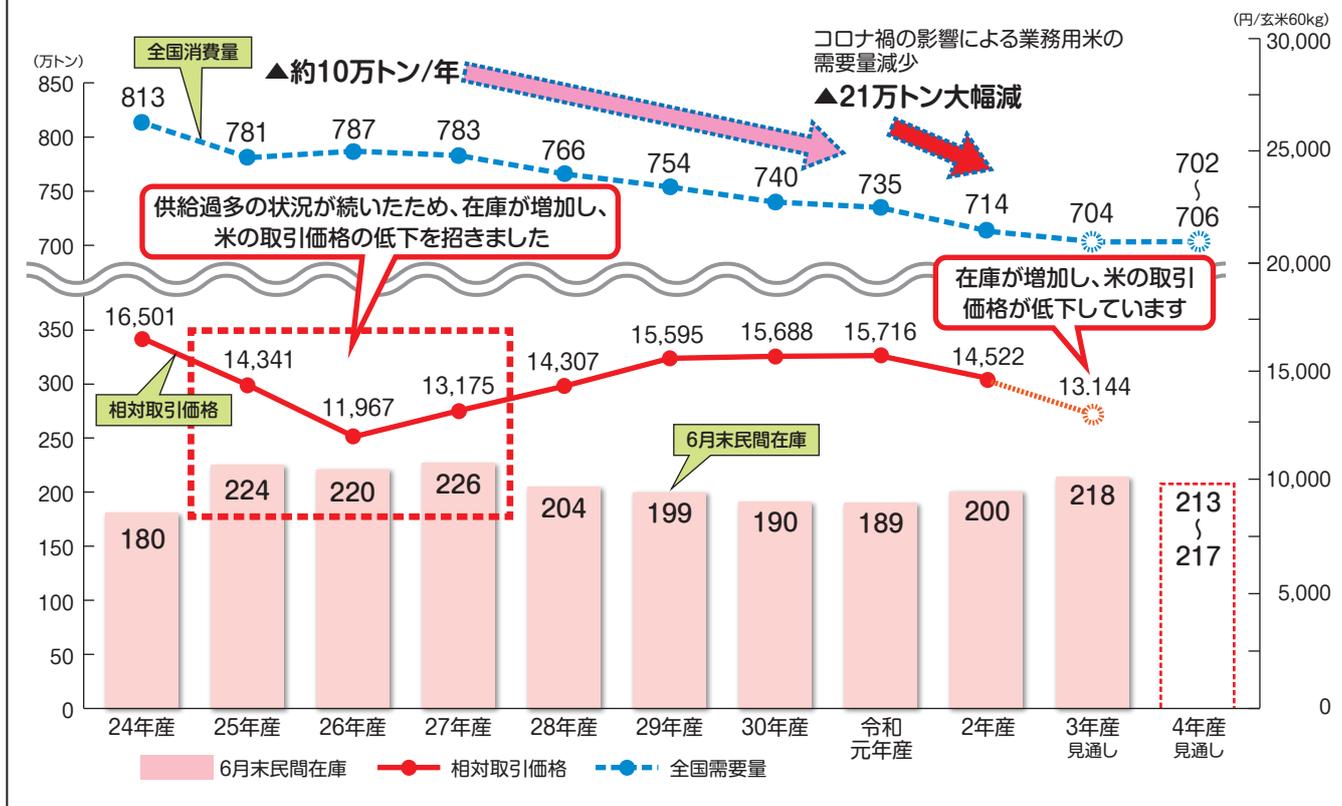


### 米づくりをとりまく状況

全国の令和4年産の主食用米の生産量の目安は、

- ① 人口減少・食の多様化による主食用米の需要量減少 (約10万トン/年)、② 令和3年6月末民間在庫:218万トン (※適正在庫180万トンを大きく超過)、③ 直近の需要量の回復傾向も考慮し、**675万トン (前年平年作比21万トン減、▲3.0%)** とされました。

【主食用米の消費量および米の相対価格・民間在庫の推移 (全国状況)】



生産者、農業者、行政等が一体となって「需要に応じた米生産」に取り組みましょう

# ◎「水田フル活用」

- ①「米の生産目標」や、地域の「作物別の生産方針」を参考に、作付計画の検討や土地利用の調整を実施しましょう。
- ②「水田リノベーション事業」や「経営所得安定対策等」の国の制度も活用し、水田のフル活用による生産性・収益性の向上に取り組みましょう。

## 令和3年度水田フル活用実績 (富山県)

作付面積 単位:ヘクタール

主食用米 32,200 (令和3年度は目標とした 作付面積を下回りました)	備蓄米 2,270	加工用米	新規 需要米 3,020	大豆 3,090	大麦 3,310	園芸 4,000	雑穀 飼料作物	調整 水田等 3,200
				ほか、二毛作 (2,100)				

1,210



## 令和4年度水田フル活用目標 (富山県)

作付面積 単位:ヘクタール

主食用米 31,550 (▲650)	備蓄米 2,300 (+30)	加工用米	新規 需要米 3,250 (+230)	大豆 3,190 (+100)	大麦 3,410 (+100)	園芸 4,100 (+100)	雑穀 飼料作物	調整 水田等 3,100
				ほか、二毛作 (2,100)				

1,300 (+90)

水田フル活用により、

- ・生産目標に沿った生産
- ・麦あと遊休農地 (約1,100ha) や調整水田 (約3,200ha) 等の不作付地を解消
- ・農業所得の拡大、収益性の向上



特に需要が高い大豆や園芸作物などの作付を積極的に!



## 水田フル活用のための支援制度なども活用しましょう!

### 新市場開拓のための水田リノベーション事業

- 実需者ニーズに対応するための低コスト生産等に取り組む場合に、取組面積に応じて支援

対象品目	助成単価
新市場開拓用米、麦、大豆、高収益作物 (野菜等)、子実用とうもろこし	4万円/10a
加工用米	3万円/10a

※令和4年産基幹作が対象

※実需者と販売契約の締結またはその計画を有していることが必要

### 麦・大豆収益性・生産性向上プロジェクト

- 作付の団地化と営農技術の導入等による生産体制の強化・効率化を支援

対象品目	麦・大豆
支援内容	<団地化の推進> 地域の話合い、ほ場の簡易な改修・点検等の経費を支援 (面積に応じた上限額の範囲内で実費を定額支援)
	<営農技術等の導入> 生産性向上や需要に応じた生産に向けた栽培技術の導入、品種転換等を支援 (定額:技術に応じて1.5万円/10a以内)
	<機械・施設の導入> 生産性向上に必要な機械・施設の導入を支援 (1/2以内)

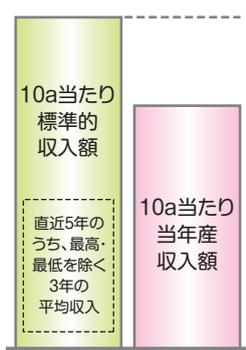


### 米・畑作物の収入減少影響緩和交付金 (ナラシ対策)

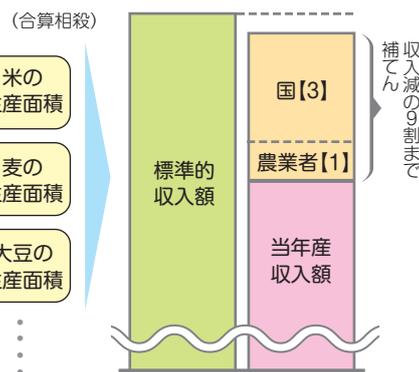
- 農業者の抛出を前提とした農業経営のセーフティネット対策

対象品目	米、麦、大豆等
負担割合	農業者: 国=1:3 (4分の3補助) ※補填後の積立金の残額は翌年産へ繰り越し (≠掛け捨て)
対象者	認定農業者、集落営農、認定新規就農者
内容	標準的収入 (地域における過去の平均収入) と当年産収入の差 (収入減少額) の9割まで補てん

#### 都道府県等地域単位



#### 農業者単位で算定



補てん 収入減の9割まで

- その他、収入保険や農業共済等の制度も用意されています。(申請窓口:農業共済組合)

※詳細は、お住まいの地域農業再生協議会 (市町村・JA) へお問合せ下さい。